

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ウラジオストク総領事館

記入日 平成26年7月11日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

特になし

2. 建設業制度，入札契約制度の改正動向

特になし

3. 報道情報

	タイトル，概要	日付/掲載紙
1	沿海地方において，漁業クラスターの創設に関するコンセプト開発，プレF/S及び投資提案を行う契約を結ぶ為の入札の評価が実施された。	2014/1/14 沿海地方行政 府HP
2	沿海地方に於ける漁業クラスターのコンセプト作成に関する契約は，日本の主要なコンサルティング会社の一つである野村総合研究所が落札した。	2014/1/31 「プリマメディア」通信
3	ロシア直接投資基金（RFPI）は2014年，極東の主要インフラプロジェクト5件に200億ルーブルを投じる予定である。	2014/1/24「コ メルサント」 紙（極東版）
4	極東連邦大学のためのウラジオストク・ルースキー島への送水管の建設には総額約17億ルーブルが費やされることになり，作業は2015年第2四半期に終了する予定である。	2014/2/18「イ ンタファクス —極東」通信
5	公開型株式会社「統合穀物会社（OZK）」は，沿海地方の穀物ターミナル建設に2億9000万ドルを投資する用意がある。穀物ターミナルは，ウラジオストクから80キロメートル離れた沿海地方のザルビノ港に設置される見込みである。	2014/3/4「ゾロ トイ・ログ」 紙

6	ユーリー・トルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表はウラジオストクの発展に関する会議で、ウラジオストク環状道路建設構想を原則的に支持した。	2014/4/16「ウラジオストク」紙
7	ウラジオストクで世界最大規模の鉱物肥料工場の建設に関する会議が行われ、工場の配置場所としてナホトカ都市管区が選ばれた。	2014/4/25「ウラジオストク」紙
8	持ち株会社「シベリア・ビジネス連合」のフェジャエフ会長は、沿海地方スハドール湾での石炭ターミナルの建設を7月にも開始する意向である。ターミナルは、韓国、中国、日本およびインドへの石炭輸出を目的にしている。	2014/6/10「ウラジオストク」紙

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

・ 6月18日、建設部門と道路事業担当であったワシリー・ウソリツェフ氏が第1副知事になったことに伴い、オレグ・エジョフ氏が同件担当副知事に任命された。